

～～第8539回～～

蓬峠～谷川岳

～H30. 10. 12-13～

昨年7月に天候不良で中止にした計画を、今年度は秋晴れを期待して10月にもってきたが、願いはかなわず一日目の予報は雨模様。それでも翌日は回復が見込めたので計画どおり実施した。天神平から谷川岳の往復ではつまらないので、一泊して谷川連峰の主脈を少しでも縦走したかった。営業小屋のある蓬峠から、展望のきく笹原の稜線を南下して谷川岳を目指すのは魅力的なコースだと思った。予定より早く、9:00前に下山口の土合駅に着いて一安心。車を置いて、蓬峠登山口のある土樽駅へは9:54発の上越線に乗らなければならない。乗り遅れると次は午後までない。無人の改札口で乗車証明書を取り、日本一のモグラ駅の下りホームへ462段の地下階段を降りる。コンクリートむき出しのまるで地下要塞の様。新清水トンネルを抜けるとすぐ土樽駅だ。待たせていたタクシーに乗って狭い林道を15分ほど走り、小広い空地に出るとそこが蓬峠登山口になる。雨は止んでいたが雨具を着用して出発。蓬新道は暫くは蓬沢沿いを歩き、それに注ぐ小沢を何度も渡ることになる。登山口から1時間、東俣沢出合に着く。ここが一番難関なところだが、幸い水量はさほど多くなかった。倒れた木に絡めた頼りないロープを掴み、何とか石を伝って渡る。そこからいったん蓬沢をはなれて尾根を登る。二つ目の水場で水を汲む。そこからは登山道も緩やかになり、20分ほどで蓬ヒュッテに到着。2015年に改装された収容20名ほどの小さな小屋だ。1昨年からは簡易トイレではなくなった。この日は天候のせいかわれ7名だけの宿泊だった。

翌朝は雨が止み、冷え込んだ。ヒュッテの高波さんの撞く鐘に送られて出発。ガスが晴れ、一面の笹原が気持ちよい。蓬峠から武能岳へはなだらかな道を登る。頂上から遙か先に一ノ倉岳、茂倉岳が並んでいる。灌木がないので稜線どおしに続く登山道も見える。武能岳から急な道を下る。笹平を過ぎるとコースの最高峰、茂倉岳が待っている。展望に助けられて登る。茂倉岳の頂上に立つと周囲の山並みが見渡せる。谷川岳から仙ノ倉山に続く稜線が目を惹く。茂倉岳から一ノ倉岳へはなだらかな尾根を伝う。一ノ倉岳まで来ると、間近に谷川岳が望める。今まで歩いて来た、なだらかな山容とは違う。西側の斜面とは非対称的な一ノ倉沢の断崖に圧倒される。あのギザギザの稜線のどこを通るのか、暫く登山道を目で追う。一ノ倉岳から滑りやすい蛇紋岩の道を100mほど急下降する。オキノ耳の登りの途中で一ノ倉沢を覗く。鎖場を過ぎ、山頂には大勢の人が見える。縦走路とはうって変わって、オキノ耳は天神平からの登山者で溢れていた。トマノ耳へは登りも下りも行列だ。早々に双耳峰を退散。天神平までひたすら人の列に続いて下ったが、満足。あア、蓬峠から登って良かった。

参加者：7名（静岡北1、静岡東1、静岡西5）

天候：雨のち晴れ

地図：茂倉岳・水上

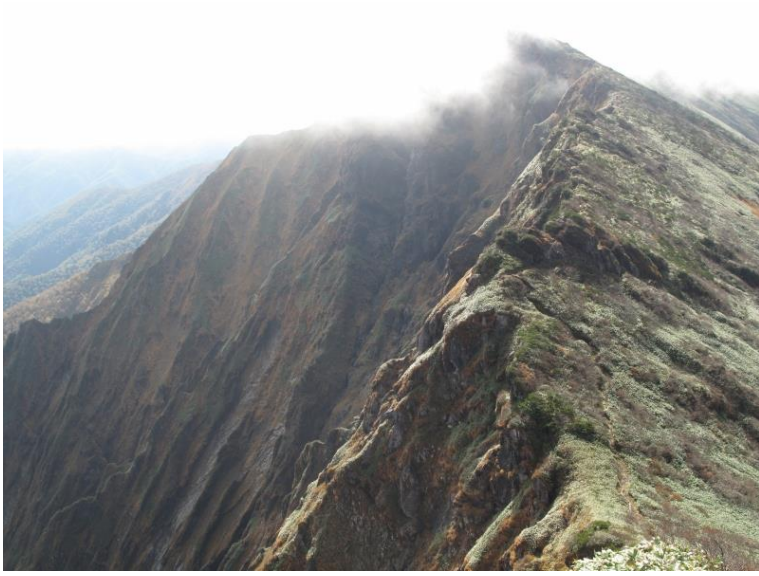
コースタイム：蓬峠登山口 1040…東又沢出合 1135-55…水場 1400…蓬ヒュッテ
(泊)1420-540…武能岳 640…茂倉岳 915-25…一ノ倉岳 950…オキノ耳 1115-35…トマノ
耳 1155…熊穴沢避難小屋 1320…天神平 1400++土合口 1415…土合駅 1445＝静岡 2030
記録：静岡西支部 堀米



谷川岳の稜線



武能岳から茂倉岳の登り



谷川岳・一ノ倉の断崖